



8 教グ企第 274 号
令和 8 年 5 月 29 日

各道府県・政令指定都市教育委員会
高等学校入学者選抜担当事務主管課長 殿

東京都教育庁グローバル人材育成部国際教育推進担当課長

堀内 明
佐藤 佳代子
(公印省略)

「令和 8 年度 中学校英語スピーキングテスト (ESAT-J) 実施要項」等の送付について

日頃より、東京都教育委員会の国際教育の推進に御理解と御協力をいただき、ありがとうございます。
東京都教育委員会では、小・中・高等学校で一貫した英語教育を推進するため、都内公立中学校、中等教育学校前期課程、義務教育学校後期課程及び特別支援学校中学部における生徒の英語「話すこと」の能力を客観的に評価するためのスピーキングテストを実施し、中学校第 3 学年段階におけるスピーキングテスト (以下「ESAT-J YEAR 3」という。)の結果を、都立高等学校入学者選抜において活用しています。

都外中学校等に在籍する生徒及び中学校を卒業した者のうち、都立高等学校入学者選抜の受験を予定しており、かつ、ESAT-J YEAR 3 の結果を都立高等学校入学者選抜において活用することを希望する者につきましても、ESAT-J YEAR 3 の受験を可能としています。

つきましては、下記のとおり、「令和 8 年度 中学校英語スピーキングテスト (ESAT-J) 実施要項」等を送付しますので、貴管下中学校等及び域内の市区町村教育委員会等への周知についてよろしくお願いいたします。

記

1 送付物

(1) ESAT-J YEAR 3 に係る資料 【別添 1】参照

2 確認事項

- (1) 東京都の公立中学校等に在籍していない生徒 (都内国私立中学校に在籍する生徒、都外中学校等に在籍する生徒等)については、ESAT-J YEAR 3 を受験しなくても、都立高等学校入学者選抜において不利にならないように取り扱うこととしています (「結果活用に関する措置」)。
- (2) 受験申込を行った生徒が、事故やインフルエンザ等のやむを得ない理由がなく欠席した場合は、都立高等学校入学者選抜における「結果活用に関する措置」の対象とはならず、スピーキングテストに相当する得点の付与はありません。従って、受験申込を行った場合は必ず受験してください。

また、やむを得ず受験できなかった場合 (都教育委員会の承認が必要)、追・再試験日での受験申請を行うこととなります。追・再試験日での受験についても、事故やインフルエンザなどのやむを得ない理由がなく欠席した場合には、都立高等学校入学者選抜における「結果活用に関する措置」の対象とはならず、スピーキングテストに相当する得点の付与はありませんので、十分に注意してください。

〔担 当〕

東京都教育庁グローバル人材育成部
主任指導主事 早 川 裕 之
国際教育企画課国際教育推進担当
統括指導主事 渡 辺 菜津子
指導主事 関 剛 志
電 話 03 (5320) 6865

